

2025^{年度} 教室・講座・イベントの成果報告

主 催 者 名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ「環境体験教室」				
題 名・副 題	めざせ植物ジュニアレンジャー(8) 植物の名前はどこから				
月 日・時 間	2026 年 1 月 25 日(日) 10:00～12:00				
開 催 場 所	はまぎん こども宇宙科学館 1 階・会議室 隣接公園				
部会・講師名	生物部会 吉岡嗣二郎	参加数	9名	講師数	3 名
写 真・画 像					
	アベリアのツクバネ(羽子板)を探した		コブシは手の「こぶし」に似ていた		
					
	色々な植物の葉の版画に挑戦		芸術的な版画が完成		
成 果 解 説	<p>この教室では、科学館の隣接公園で植物を観察しながら、植物の名前の由来について理解を深めました。また、シェアリングネイチャー(自然との分かち合い)として植物版画を作りました。</p> <p>植物観察では、シラカシは木の幹の中が白いこと。サルスベリは猿が滑ってしまいそうに幹がツルツルしていること。コブシは人のこぶしに似ていることが名前の由来であることを知りました。「アベリア」の和名「ハナゾノツクバネウツギ」は、花の下のカク片が羽子板の羽(ツクバネ)に似ていることが名前の由来であることも知りました。スイセンは清らかな立ち姿から、また、ヤツデは四方八方に広がる姿が名前の由来であることを知ることができました。</p> <p>植物版画では、「冬の植物バージョン」として行い、常緑樹の葉は水をはじきましたが、出来の良い楽しい作品ができました。今回の教室で植物ジュニアレンジャーが3名誕生しました。</p>				